

## ボウリング中に発生した中指基節骨の sagittal split fracture の 1 例

○福井 友章, 吉田 和也, 伊藤研二郎, 松島 真司, 山田 昌弘

明石医師会立明石医療センター 整形外科

### 【Abstract】

ボウリング中に発生した, きわめて稀な中指基節骨の“縦割れ”骨折を経験したので報告する.

### 【症 例】

23歳男性. 右利き. ボウリング中, 投球動作に入る際に転倒し, ボールを持ったまま右手を地面につき, 中指のPIP関節で体重を受ける形で受傷した. 近医にて右中指基節骨骨折と診断され, 当科を紹介された. 右中指基節部に腫脹および圧痛を認め, PIP関節背側に軽度の挫創を認めた. 単純レントゲンにて, 基節骨の近位関節面から遠位関節面まで達する矢状方向の骨折を認め, 骨片間の離開がみられた. 全身麻酔下に手術を施行した. 中指基節部の背側より進入した. 基節骨に矢状方向の骨折と離開を認め, PIP関節面の橈側ほぼ2分の1が第3骨片として遊離していた. PIP関節面を直視下に, MP関節面を透視下に確認しつつ整復し, AO  $\phi$  2mm mini cortical screw 3本で固定した. 第3骨片は固定が困難であったため, 還納し留置するのみとした. 術後5ヶ月の現在, 骨癒合は得られ, 可動域制限もなく, 良好な機能が得られている.

### 【考 察】

ボウリングは安全で手軽なスポーツとして広く行われている. しかし, ボールを把持した状態では母指・中指・環指がボール穴の中で自由度が低くなっているために転倒などの際にストレスがかかりやすく, 今回の症例のように骨折などの重大な外傷が発生することがあり, 注意が必要である.